

2年後期補習シラバス目次（ページ数）

文理英語－ 2

文理国語－ 3

日本史研究－ 4

世界史研究－ 5

文系数学－ 6

理系数学－ 7

理系物理－ 8

理系化学－ 9

令和6年度 第2学年 後期 【英語】

1 目標・ねらい

- (1) 英語の家庭学習時間と学習機会を確保する。
- (2) 勉強方法の確立を目指す。
- (3) 学習内容を確実に身に付ける。

2 内容

- (ア) 長文を中心とした入試演習
- (イ) 実力養成演習

3 計画

	時期	内容	ねらい
早朝補習	10月～1月	長文の問題演習と学習方法の指導	基礎的な長文を用いて、講義を行う。 また、家庭学習でどのように復習をするかを指導し、学習方法の確立を目指す。
冬期補習	12月	時事英語演習	時事問題を英語で読み、実力養成を図る。

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

4 持ち物

早朝補習：辞書、入門英語長文問題精講（別途購入）、FACTBOOK、コーパス 3000

冬期補習：辞書、NEWS BREAK、FACTBOOK、コーパス 3000

5 その他

--

令和6年度 第2学年 後期 【国語】

1 目標・ねらい

受験に対応できる力を身につける。

- (1) 補習を通して、古典文法や漢文の句法など、古典を学習する上で必要な知識を定着させる。
- (2) さまざまな文章に触れる機会、初見の問題に取り組む機会を増やし、読解方法を身につける。
- (3) 小論文の書き方を身につける。

2 内容

(ア) 基礎古典コース…既習内容の復習。比較的平易な文章に触れながら体系的に知識を獲得する。

対象者：大学入試で古典が必要だが、古典が苦手な人（目安：定期テストで平均点以下の人）

(イ) 応用古典コース…問題演習。既習の知識を用いながら問題を解く力を養う。

対象者：大学入試で古典が必要で、古典の力を伸ばしたい人。（目安：定期テストで平均点以上の人）

(ウ) 現代文コース…問題演習を通して、本文の読み方・問題の解き方を身につける。

対象者：大学、専門学校への進学を希望している人

(エ) 小論文コース…小論文・作文の書き方を身につける。

対象者：大学、専門学校への進学を希望している人

3 計画

	時期	内容
早朝補習	2学期	基礎古典コース…補助教材を用いた問題演習(用言・助動詞・敬語を中心に) 応用古典コース…補助教材を用いた問題演習 現代文コース…補助教材を用いた問題演習(記述問題を中心に)
冬期補習	冬休み	基礎古典コース…補助教材を用いた問題演習、初見の問題チャレンジ 応用古典コース…模試、入試問題の過去問演習 現代文コース…記述問題の解き方 小論文コース…小論文の基礎基本を用いた書き方
早朝補習	3学期	基礎古典コース…補助教材を用いた問題演習 応用古典コース…補助教材を用いた問題演習 現代文コース…補助教材を用いた問題演習

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

4 持ち物

古典コース…古語辞典（電子辞書でも可）、完全マスター古典文法、新明説漢文
現代文、小論文コース…国語辞典（電子辞書でも可）

5 その他

特になし

令和6年度 第2学年 後期 【日本史】

1 目標・ねらい

- (1) 日本史の入試問題に触れ、入試の傾向を知ろう。
- (2) 入試問題を通して現状の実力を測り、今後の自分の学習に生かそう

2 内容

- (ア) 愛知県内の私立大学の入試問題演習
- (イ) 模試の問題演習
- (ウ) 共通テストの問題演習

3 計画

	時期	内容
早朝補習	10月上旬 ～12月中旬	・愛知県内の私立大学の入試問題演習＋解説(それまでに学習した範囲から) ・模試の過去問題演習＋解説(それまでに学習した範囲から)
冬期補習	12月下旬	・愛知県内の私立大学の入試問題演習＋解説(それまでに学習した範囲から) ・模試の過去問題演習＋解説(それまでに学習した範囲から)
早朝補習	1月上旬 ～2月上旬	・愛知県内の私立大学の入試問題演習＋解説(それまでに学習した範囲から) ・共通テストの問題演習＋解説(それまでに学習した範囲から)

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

4 持ち物

教科書
授業プリント
メモができるもの (ノートとか…)
図説

5 その他

授業で学んだことを実践できる貴重な機会！そのため「問題を解く→答え合わせをする」だけで終わってほしくない！解説を聞いたうえで自分の弱点を知り、今後の授業や家庭学習につなげてほしい！地道な作業ですが、やれば力がつき、2年生のうちから大きな武器となります。一緒に頑張りましょう。

令和6年度 第2学年 後期 【世界史探究】

1 目標・ねらい

既習範囲の復習と受験を視野に入れた学習をする。

- (1)基礎力を磨く
- (2) 模試の過去問、入試問題に触れ実力をつける

2 内容

- (ア) 既習内容の復習 基本的な問題に取り組むことにより基礎力を身に付ける。
(イ) 問題演習 模試の過去問や知識の確認できる入試問題に取り組むことにより応用力を育成する。

3 計画

	時期	内容
早朝補習	10～12月	・1学期の既習範囲を地域ごとに確認する(基本問題) ・模試の過去問
冬期補習	12月	・共通テストにチャレンジ
早朝補習	1月～	・1・2学期既習範囲を地域ごとに確認する(基本問題) ・模試の過去問、私大の入試問題

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

4 持ち物

授業と同じ

5 その他

歴史総合の範囲も扱います

令和6年度 第2学年 後期 【数学(文系)】

1 目標・ねらい

- (1) 入試や模擬試験等、実践に近い問題を解く機会を確保する。
- (2) 補習を通して、基礎力、応用力を身に付ける。
- (3) 自分の実力を確認し、今後の学習や復習の手立てとする。

2 内容

問題演習 (主に数学 I A の内容)

3 計画

	時期	内容
早朝補習	10月上旬～12月中旬	・模擬試験の過去問演習 ・分野別応用問題演習 (・数と式・2次関数・場合の数と確率)
冬季補習	12月下旬	・模擬試験の過去問演習 ・分野別応用問題演習 (・2次関数・平面図形)
早朝補習	1月中旬～2月上旬	・模擬試験の過去問演習 ・分野別応用問題演習 (・図形の計量・整数の性質)

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

4 持ち物

- ・チャート I + A
- ・授業ノート (必要であれば)

5 その他

数学は「つながり」、「積み重ね」が特に重要な教科です。学んだ内容が、今後の学習につながり、知識が積み重なり、実力が付いてきます。また、多くの問題に触れることで、新たな考え方が見えてきます。補習を通して力を高めて行きましょう。

令和6年度 第2学年 後期 【数学(理系)】

1 目標・ねらい

- (1) 入試や模擬試験等、実践に近い問題を解く機会を確保する。
- (2) 補習を通して、基礎力、応用力を身に付ける。
- (3) 自分の実力を確認し、今後の学習や復習の手立てとする。

2 内容

問題演習

3 計画

	時期	内容
早朝補習	10月上旬～12月中旬	・模擬試験の過去問演習 ・分野別応用問題演習(・図形と方程式・指数関数と対数関数・微分法・ベクトル)
冬季補習	12月下旬	・模擬試験の過去問演習 ・分野別応用問題演習(・ベクトル)
早朝補習	1月中旬～2月上旬	・模擬試験の過去問演習 ・分野別応用問題演習(・微分法と積分法・数列)

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

4 持ち物

- ・チャートⅠ+A
- ・チャートⅡ+B
- ・授業ノート (必要であれば)

5 その他

数学は「つながり」、「積み重ね」が特に重要な教科です。学んだ内容が、今後の学習につながり、知識が積み重なり、実力が付いてきます。また、多くの問題に触れることで、新たな考え方が見えてきます。補習を通して力を高めて行きましょう。

令和6年度 第2学年 前期 【理科・物理基礎・物理】

1 目標・ねらい

受験に対応できる力を身につける。

- (1) 基礎的な事項の確認、さらに授業で扱えなかった発展的な部分を補足する。
- (2) さまざまな形式の問題に取り組む機会を増やし、応用力を身につける。

2 内容

- ・授業で扱えなかった発展的内容の補足
- ・模試や入試（基本）のレベルを意識した問題演習

3 計画

	時期	内容
早朝補習	通年	<ul style="list-style-type: none">・授業で扱えなかった発展的内容を講義し、問題で実践する。・模試、入試の過去問の大問1題を20分で解き、20分で解説。
夏期補習	夏休み	<ul style="list-style-type: none">・授業で扱えなかった発展的内容を講義し、問題で実践する。・模試、入試の過去問の大問1題を20分で解き、20分で解説。

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

4 持ち物

筆記用具、各自問題を解く際に参考にする本（教科書、参考書など）

5 その他

物理は公式を覚えるだけでは解けない。1つの公式で多様なパターンの問題が出題される。沢山の問題に触れ、思考し、現象への理解を深めることが物理の力につながる。授業の時間だけでは絶対に足りない。そのため、物理での受験を考えているのなら、補習で沢山の問題と出会い、確かな実力を身に付けてほしい。

令和6年度 第2学年 後期 【理科 化学基礎】

1 目標・ねらい

基礎知識の定着および、演習を通じた実践力の育成。

- (1) 授業で扱った内容の復習による基礎知識の定着
- (2) 基本問題の演習による実践力の育成
- (3) 大学入試レベルの問題演習にチャレンジ

2 内容

- (ア) 授業内容の復習
- (イ) 基本問題、大学入試問題の演習

3 計画

	時期	内容
早朝補習	10月～ 12月～	・物質量、化学反応式、量的関係、中和の復習 ・リードαの問題の演習
冬期補習	冬休み	・リードαの問題演習
早朝補習	1月～	・模試や入試問題の過去問の演習

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

4 持ち物

教科書、リードα

5 その他

授業で理解できなかったことも補習でしっかりと復習して基礎学力の定着を図ります。

物質量を扱う基本的な計算問題はこれからの化学でも避けては通れません。問題演習の積み重ねが必要不可欠です。受講者の皆さんがレベルアップできるよう、一緒に頑張っていきましょう！